

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市あおぞらホーム
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 2,530人(前年度比91.6%) 令和5年度 2,762人(前年度比91.9%) 令和4年度 3,004人(前年度比91.7%) 《事業》 児童発達支援事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 39,966千円(41,793千円) - その他市が負担した費用 605千円(316千円) 《収入》 - 使用料収入 37,215千円(39,749千円) - その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 1年に1回保護者にアンケート調査を実施している。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の保育所・幼稚園等の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実に積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。 また、各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練のほか、近隣の支援学校や社会福祉施設との合同訓練を実施しており、利用者の安全に配慮した運営に努めている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報共有に努め、職員全体でのサービス向上を目指している。 説明の仕方を工夫し、わかりやすく丁寧な説明を心掛けている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画について、利用者1人1人の障害特性に寄り添い、詳細に作成している。 また、専門職員の配置を生かし、保護者からの健康相談に対応するなど、安心して通園できる環境を整えている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
令和6年度はアーチルと連携し、随時の入園体制をとり、複数名の入園を図ることができた。コンスタントな通園につながりにくいケースもあったが親子通園の意味を伝えることを通し保護者の理解と協力を得るよう努めた。また、通園バスを利用する家庭が増えバスコース編成や乗車時間が長くなり園の到着時間が遅くなることは課題であった。 園児の状況としては肢体不自由児や医療的ケア児が多い年であり、緊急対応した園児もいたことから、日々の園児の体調確認や情報の共有を大切にしてきた。緊急対応訓練も定期的に行い命を守ることについて意識を高めてきた。非常勤看護師が不在となる期間があったが11月から勤務となり、引き続き隣接するセンターの正規看護師と連携しながら園児の健康面や安全面について情報共有し療育に繋げてきた。クラス編成は2クラスとし、1クラスはゆっくりな動きや体調に配慮する園児が多いクラスとした。発達支援については生活の基盤作り、遊びや教材の工夫や準備に力を入れチームでの取り組みを大切にしてきた。家族支援として保護者の本当の思いや願いの理解が十分にできず、信頼関係をつくるのが難しいケースもあった。保護者の思いを十分に傾聴しながら、視野を広く持ち真摯に向き合いたいと考える。 地域支援については、地域相談員と共に職員も取り組み始めた年となった。法人内の親子通園の職員同士のつながりも深まり主体的に取り組んだ地域向けのお祭りや研修会の開催は職員にとっても地域支援を考える大切な取り組みとなった。また他法人が運営する児童発達支援センターとの連携が進み地域支援の課題やありかたについて検討しながら取り組んできた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 仙台市発達相談支援センターとの連携により必要に応じ随時の利用を受け入れた。また、利用が断続的だった保護者への丁寧な関わりにより、定期的な通園につながった。 本人支援については、児童の障害種別や特性に応じたクラス編成を行ったり遊びや教材を工夫したりするなどの取り組みがなされている。また、児童の体調管理についても重視し緊急時の訓練を行うなど健康・安全の確保の努めた。 保護者支援については、通園バスの需要が高まる中、ルートを工夫するなどし乗車時間の減少に取り組んだ。 地域への支援として、協定書及び仕様書により「地域支援業務」としてこどもの支援機関に対する研修会を開催する他、お祭りの開催も行い積極的な取り組みを行った。 以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課